フレッシュルーフⅢ（Rタイプ テラス囲い） 取付説明書

取説番号	D6-001

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく施工を行っていただくため、この説明書に従って組立てを行ってください。

商品取扱いについて（取扱い上の注意）

1. 積雪が２０cmを超える前に雪おろしをして下さい。(600N/㎡としたときの目安です。)
   製品に破損のおそれがあります。
2. 床に制限荷重以上の重さをかけないで下さい。(1800N/㎡としたときの目安です。)
   製品に破損のおそれがあります。
3. 木製家具等を長期間置くと、太陽光線により、色あせ、ソリが生じることがありますのでご注意下さい。
4. 使用状態により本体に結露が発生し、水滴が落ちることがありますのでご注意下さい。
5. 屋根の上に乗ったり、物を載せないで下さい。落下の危険があります。

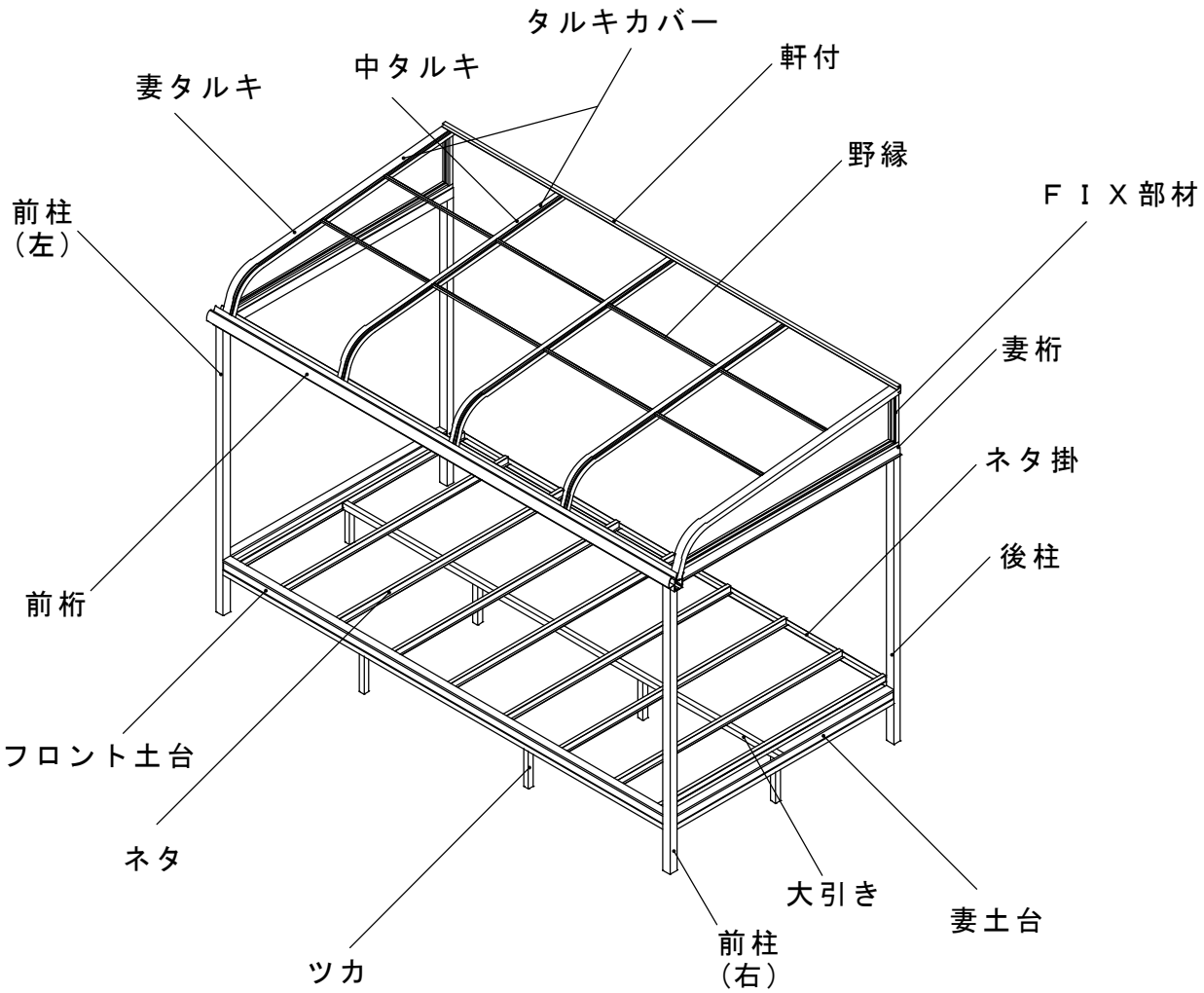
目　次

施工上の注意 ―― 2
各部の名称 ―― 2
箱内容表 ―― 3
部品内容表 ―― 4
製品基本図 ―― 5
取付手順
1 柱基礎 ―― 7
2 軒付・ネタ掛の取付 ―― 7
3 柱・桁・土台（ツカ）・妻桁・妻土台
・ジョイントネタの取付 ―― 8
4 タルキ・野縁・屋根材・側面部材の取付 ―― １０
5 ネタの取付 ―― １１
6 サッシ枠の取付及び化粧見切りの取付 ―― １２
7 床材の取付(フロアー材・塩ビデッキ材) ―― １４
8 サッシの取付 ―― １５
9 立樋の取付 ―― １６
10 柱の固定(根巻き) ―― １６

施工上の注意

1.施工を行う前に梱包箱の内容、数量、部品などの確認を行なって下さい。
2.積雪の多い地域では、直接雪やツララの落下する場所には雪止めをして下さい。
3.取付位置に既存屋根、庇がある場合、製品本体の屋根と３００㎜以上あけて下さい。
（３００㎜は軒付上部のシーリング処理及び屋根材を垂木カバーで固定するための、作業幅です。）
4.屋根の上には乗ったり、足を掛けたりはしないで下さい。
5.コーチスクリューを母屋に取付ける場合は、取付位置に下穴をあけて下さい。
（下穴にはシーリング処理を施して下さい。）
6.別途手配品として次のものをご用意下さい。
・シリコーン（一般タイプ）
・シリコーン（ポリカーボネート対応タイプ）
・柱基礎用資材（コンクリート、割栗石）　※現場状況に応じたもの
・木工用ボンド

各部の名称



箱内容表

箱名	内容	数量
FX-R1A*	前柱(左右)	各1
	後柱(左右)	各1
FX-R1B*	前柱(中)	1
FX-1C*	φ42丸立樋	1
	丸樋取付部品	1
FX-R2A*	妻ﾀﾙｷ(左右)12	各1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 12	2
FX-R2B*	妻ﾀﾙｷ(左右)15	各1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 15	2
FX-R2C*	妻ﾀﾙｷ(左右)18	各1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 18	2
FX-R2D*	妻ﾀﾙｷ(左右)21	各1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 21	2
FX-R2E*	中ﾀﾙｷ 12	1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 12	1
FX-R2F*	中ﾀﾙｷ 15	1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 15	1
FX-R2G*	中ﾀﾙｷ 18	1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 18	1
FX-R2H*	中ﾀﾙｷ 21	1
	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰ 21	1
FX-R3A*	前桁 1.0K	1
	軒付 1.0K	1
FX-R3B*	前桁 1.5K	1
	軒付 1.5K	1
FX-R3C*	前桁 2.0K	1
	軒付 2.0K	1
FX-R3D*	前桁 2.5K	1
	軒付 2.5K	1
FX-R3E*	前桁 3.0K	1
	軒付 3.0K	1
FX-3F*	野縁	2
FX-3G*	野縁	3
FX-R4A*	組立部品(床ﾌﾛｱｰ)～2.0K	1
FX-R4B*	組立部品(床ﾌﾛｱｰ)～3.0K	1
FX-R4C*	組立部品(床ﾌﾛｱｰ)～2.0KJ	1
FX-R4D*	組立部品(床ﾃﾞｯｷ)～2.0K	1
FX-R4E*	組立部品(床ﾃﾞｯｷ)～3.0K	1
FX-R4F*	組立部品(床ﾃﾞｯｷ)～2.0KJ	1
FX-R5A*	妻桁(左右)12	各1
	妻土台 12	2
	見切縁(左右)12	各1
	胴縁 12ﾀﾃ	2
	FIX枠12ﾀﾃ(左右)	各1
	FIX枠12ﾖｺ(左右)	各1
	押縁 12ﾀﾃ	2
	押縁12ﾖｺ(左右)	各1
FX-R5B*	妻桁(左右)15	各1
	妻土台 15	2
	見切縁(左右)15	各1
	胴縁 15ﾀﾃ	2
	FIX枠15ﾀﾃ(左右)	各1
	FIX枠15ﾖｺ(左右)	各1

箱名	内容	数量
FX-R5B*	押縁 15ﾀﾃ	2
	押縁15ﾖｺ(左右)	各1
FX-R5C*	妻桁(左右)18	各1
	妻土台 18	2
	見切縁(左右)18	各1
	胴縁 18ﾀﾃ	2
	FIX枠18ﾀﾃ(左右)	各1
	FIX枠18ﾖｺ(左右)	各1
	押縁 18ﾀﾃ	2
	押縁18ﾖｺ(左右)	各1
FX-R5D*	妻桁(左右)21	各1
	妻土台 21	2
	見切縁(左右)21	各1
	胴縁 21ﾀﾃ	2
	FIX枠21ﾀﾃ(左右)	各1
	FIX枠21ﾖｺ(左右)	各1
	押縁 21ﾀﾃ	2
	押縁18ﾖｺ(左右)	各1
FX-5E	ネタ 12	2
FX-5F	ネタ 12	3
FX-5G	ネタ 15	2
FX-5H	ネタ 15	3
FX-5I	ネタ 18	2
FX-5J	ネタ 18	3
FX-5K	ネタ 21	2
FX-5L	ネタ 21	3
FX-5M	ｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀ 12	1
FX-5N	ｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀ 15	1
FX-5O	ｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀ 18	1
FX-5P	ｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀ 21	1
FX-6A*	土台 1.0K	1
	ネタ掛 1.0K	1
	見切縁(ﾌﾛﾝﾄ)1.0K	1
	見切縁(母屋)1.0K	1
FX-6B*	土台 1.5K	1
	ネタ掛 1.5K	1
	見切縁(ﾌﾛﾝﾄ)1.5K	1
	見切縁(母屋)1.5K	1
FX-6C*	土台 2.0K	1
	ネタ掛 2.0K	1
	見切縁(ﾌﾛﾝﾄ)2.0K	1
	見切縁(母屋)2.0K	1
FX-6D*	見切縁Fｼﾞｮｲﾝﾄ	1
	見切縁Rｼﾞｮｲﾝﾄ	1
FX-6E*	見切縁ﾃﾞｯｷｼﾞｮｲﾝﾄ	2
FX-R7AP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)12 2×890×1337	2
FX-R7BP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)12 2×890×1337	3
FX-R7CP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)15 2×890×1641	2
FX-R7DP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)15 2×890×1641	3
FX-R7EP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)18 2×890×1947	2
FX-R7FP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)18 2×890×1947	3

箱名	内容	数量
FX-R7GP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)21 2×890×2251	2
FX-R7HP	ﾔﾈﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)21 2×890×2251	3
FX-R7IP	ﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)12 FIX用 12(左右)	各1
FX-R7JP	ﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)15 FIX用 15(左右)	各1
FX-R7KP	ﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)18 FIX用 18(左右)	各1
FX-R7LP	ﾎﾟﾘｶ(ｸﾞﾚｰ透明)21 FIX用 21(左右)	各1
FX-9AN	下地板18*910*1820	1
FX-9B*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=1850	2
FX-9C*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=1850	3
FX-9D*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=2750	2
FX-9E*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=2750	3
FX-9F*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=3650	2
FX-9G*	ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷ L=3650	3
FX-9I*	ツカ	1
FX-9J*	ツカ	2
FX-9K*	大引き 1.0K	1
	ツカ	3
	大引取付部品ｾｯﾄ	1
FX-9L*	大引き 1.5K	1
	ツカ	4
	大引取付部品ｾｯﾄ	1
FX-9M*	大引き 2.0K	1
	ツカ	5
	大引取付部品ｾｯﾄ	1
FX-9W	ﾌﾛｱｰ材	3
FX-9X	ﾌﾛｱｰ材	4
FX-9Y	ﾌﾛｱｰ材	5
FX-9Z	ﾌﾛｱｰ材	6
FX-H01*1	掃出ｻｯｼ 12(ｵｽ)	1
FX-H01*2	掃出ｻｯｼ 12(ﾒｽ)	1
FX-H02*1	掃出ｻｯｼ 15(ｵｽ)	1
FX-H02*2	掃出ｻｯｼ 15(ﾒｽ)	1
FX-H03*1	掃出ｻｯｼ 18(ｵｽ)	1
FX-H03*2	掃出ｻｯｼ 18(ﾒｽ)	1
FX-H04*1	掃出ｻｯｼ 21(ｵｽ)	1
FX-H04*2	掃出ｻｯｼ 21(ﾒｽ)	1
FX-H05L*1	掃出ｻｯｼ 27左(ｵｽ)	1
FX-H05L*2	掃出ｻｯｼ 27左(ﾒｽ)	1
FX-H05R*1	掃出ｻｯｼ 27右(ｵｽ)	1
FX-H05R*2	掃出ｻｯｼ 27右(ﾒｽ)	1
FX-H06L*1	掃出ｻｯｼ 36左(ｵｽ)	1
FX-H06L*2	掃出ｻｯｼ 36左(ﾒｽ)	1
FX-H06R*1	掃出ｻｯｼ 36右(ｵｽ)	1
FX-H06R*2	掃出ｻｯｼ 36右(ﾒｽ)	1

注)ﾌﾟﾗﾃﾞｯｷの色記号は、B又はG(B=木目、G=ｱｲﾎﾞﾘｰ)となります。

注)ﾎﾟﾘｶの箱記号のPの前にｸﾞﾚｰｽﾓｰｸﾏｯﾄはM、ｸﾘｱﾏｯﾄはC、熱線遮断ﾎﾟﾘｶはVを付加えて下さい

注)部品はG、K、Wのみです。

※箱名末尾の＊は色記号(ﾀﾞｰｸﾌﾞﾗｳﾝ=D、ｽﾃﾝｸﾞﾚｰ=G、ﾌﾞﾗｯｸ=K、Nﾎﾜｲﾄ=W)に読み替えて下さい。

箱内容表

箱名	内容	数量
FX-W01*	掃出ｻｯｼ枠 12	1
FX-W02*	掃出ｻｯｼ枠 15	1
FX-W03*	掃出ｻｯｼ枠 18	1
FX-W04*	掃出ｻｯｼ枠 21	1
FX-W05*	掃出ｻｯｼ枠 27	1
FX-W06*	掃出ｻｯｼ枠 36	1
FX-1I*	方立(掃出)	1
FX-1J*	方立(高窓下)	1
FX-6L*	高窓無目12	1
FX-6M*	高窓無目15	1
FX-6N*	高窓無目18	1

箱名	内容	数量
FX-60*	高窓無目21	1
FX-6P*	高窓無目27	1
FX-H11*	高窓ｻｯｼ 12	1
FX-H12*	高窓ｻｯｼ 15	1
FX-H13*	高窓ｻｯｼ 18	1
FX-H14*	高窓ｻｯｼ 21	1
FX-H13*	高窓ｻｯｼ 27(ｵｽ)	1
FX-H14*	高窓ｻｯｼ 27(ﾒｽ)	1
FX-W11*	高窓ｻｯｼ枠 12	1
FX-W12*	高窓ｻｯｼ枠 15	1
FX-W13*	高窓ｻｯｼ枠 18	1

箱名	内容	数量
FX-W14*	高窓ｻｯｼ枠 21	1
FX-W15*	高窓ｻｯｼ枠 27	1
FX-P11*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ600	1
FX-P12*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ750	1
FX-P13*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ900	1
FX-P14*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ1050	1
FX-F11*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ枠600	1
FX-F12*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ枠750	1
FX-F13*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ枠900	1
FX-F14*	FIX高窓下ﾊﾟﾈﾙ枠1050	1

※箱名末尾の＊は色記号(ﾀﾞｰｸﾌﾞﾗｳﾝ=D、ｽﾃﾝｸﾞﾚｰ=G、ﾌﾞﾗｯｸ=K、Nﾎﾜｲﾄ=W)に読み替えて下さい。

部品内容表

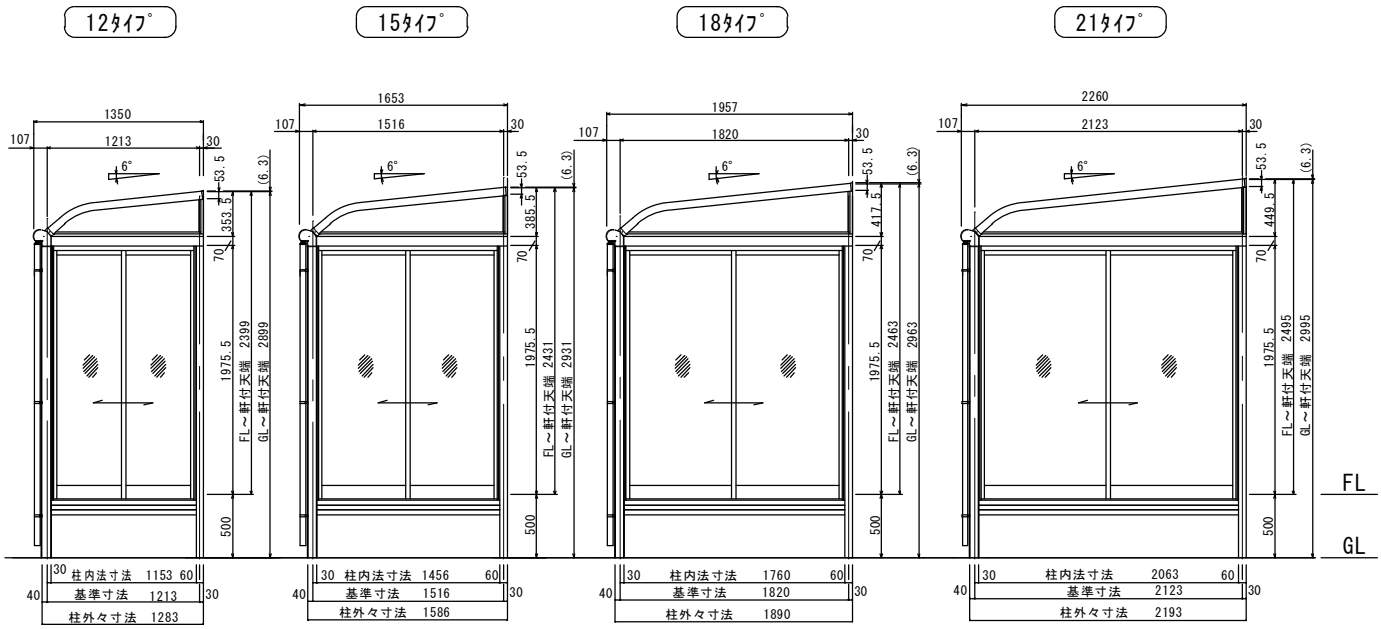
(注) 下表の数量下の記号末尾の＊は色(G=ｽﾃﾝｸﾞﾚｰ、K=ﾌﾞﾗｯｸ、W=Nﾎﾜｲﾄ)を表します。

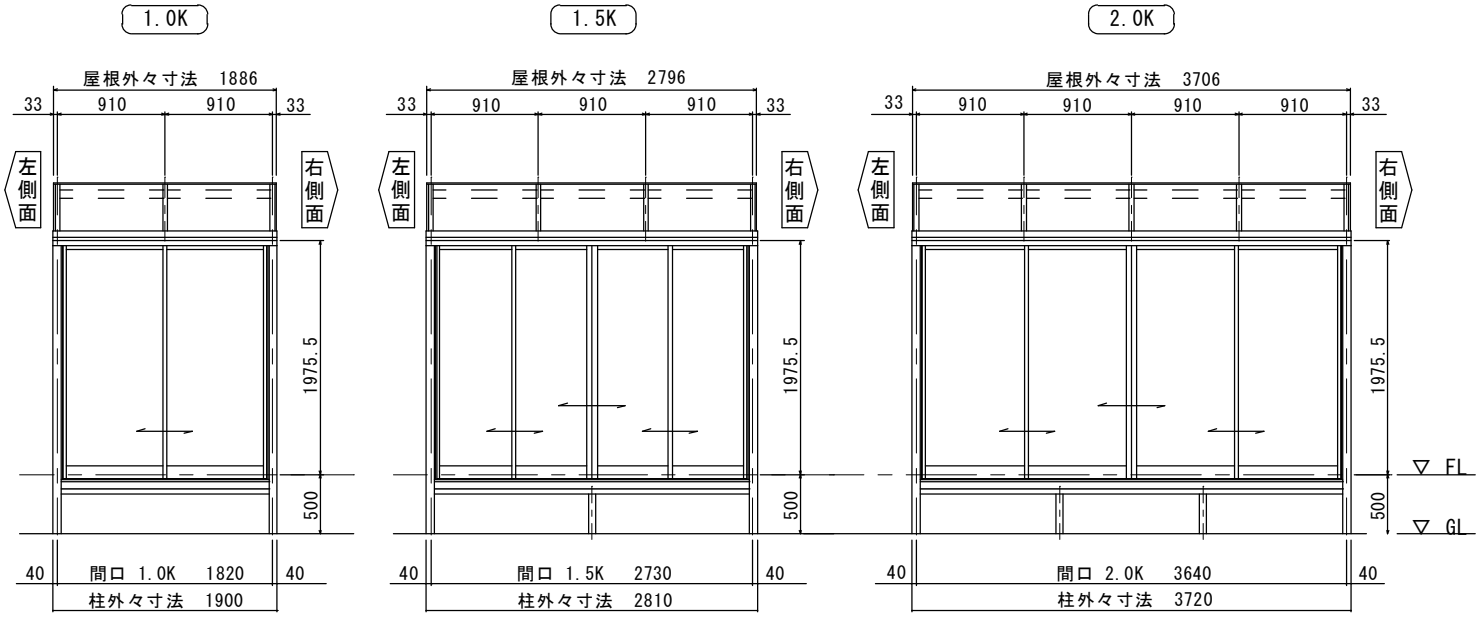
名称	品番	寸法	数量				備考		
			FX-R4A*	FX-R4B*	FX-R4D*	FX-R4E*	材質	色	用途
アンカー	S-12B	φ8×200	4	5	4	5	ｽﾁｰﾙ	ﾒｯｷ	柱根がらみ
土台ﾌﾞﾗｹｯﾄ	S-922		6	8	6	8	ｽﾃﾝﾚｽ	ｼﾙﾊﾞｰ	柱と土台等連結
土台ﾌﾞﾗｹｯﾄ(JTﾈﾀ用)	S-645		0	2	0	2	ｱﾙﾐ	ｼﾙﾊﾞｰ	柱とｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀの連結
土台･大引き取付ﾋﾟｰｽ	S-791		2	2	2	2	ｱﾙﾐ	ｼﾙﾊﾞｰ	妻桁と躯体の連結
柱･桁取付ﾋﾟｰｽ	S-792B		2	3	2	3	ｱﾙﾐ	ｼﾙﾊﾞｰ	前桁と前柱の連結
後柱･妻桁取付ﾌﾞﾗｹｯﾄ	S-794B		4	5	4	5	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	妻桁と後柱の連結
ﾀﾙｷﾋﾟｰｽ	S-882		2	2	2	2	ｽﾁｰﾙ	G･K･W	前桁とﾀﾙｷの連結
前桁ｷｬｯﾌﾟ	EP-536		各1	各1	各1	各1	AAS R･L	G･K･W	前桁と妻ﾀﾙｷの小口化粧
前桁止水ﾊﾟｯｷﾝ	EP-539		2	2	2	2	発泡PE	ｸﾞﾚｰ	前桁両端の止水
軒付ｷｬｯﾌﾟ	EP-392A		各1	各1	各1	各1	AAS R･L	G･K･W	軒付と妻ﾀﾙｷの小口化粧
片押えﾋﾞｰﾄ	KTS-153		10m	10m	10m	10m	PVC(非移行)	黒	妻FIXとﾎﾟﾘｶの固定
トラス小ﾈｼﾞ		M6×16	12	16	12	16	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	意匠部の柱･桁･土台と金具の固定
六角ボルト		M8×16	12	14	12	14	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	
平座金		M8	12	14	12	14	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	
トラス小ﾈｼﾞ		M6×16	12	16	12	16	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	非意匠部の柱･桁土台と金具の固定
六角ボルト		M8×16	16	24	16	24	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
六角ナット		M8	12	14	12	14	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
平座金		M8	20	28	20	28	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
ｺｰﾁｽｸﾘｭｰ(全ﾈｼﾞ)		φ6×75	18	28	18	28	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	軒付･ﾈﾀ掛･FIXﾀﾃ胴縁と躯体の固定
平座金		M6	18	28	18	28	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
四角ボルト		M6×16	18	24	18	24	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	ﾈﾀとﾌﾛﾝﾄ土台･ﾈﾀ掛の固定
六角ナット		M6	18	24	18	24	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
平座金		M6	18	24	18	24	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	
ナベテクス	ｺﾞﾑW付	φ4×25	55	80	55	80	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	ﾀﾙｷｶﾊﾞｰの固定
ﾀｯﾋﾟﾝねじﾄﾗｽ3種		M4×12	50	70	50	70	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	前桁･軒付･ﾀﾙｷ･野縁の固定
サラテクス(D6)		φ4×13	30	40	30	40	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	見切縁とサッシ下枠の固定
サラテクス(D6)		φ4×13	24	36	24	36	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	見切縁(ﾀﾃ)の固定
ﾀｯﾋﾟﾝねじﾄﾗｽ1種		φ4×30	10	18	10	18	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	見切縁と躯体カベの固定
サラテクス		φ4×30	70	110	ー	ー	ｽﾁｰﾙ	ﾒｯｷ	ﾈﾀと下地合板の固定
スクリュー釘		＃14×45	120	180	ー	ー	ｽﾁｰﾙ	ﾒｯｷ	下地合板とﾌﾛｱｰ材の固定
ナベテクス		φ4×13	ー	ー	70	110	ｽﾃﾝﾚｽ	生地	ﾈﾀと塩ビﾃﾞｯｷ材の固定
ﾀｯﾋﾟﾝねじﾅﾍﾞ1種		φ4×16	2	2	2	2	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	前桁ｷｬｯﾌﾟと前桁
ナベテクス		φ4×16	6	10	6	10	ｽﾃﾝﾚｽ	生地･K･生地	･妻ﾀﾙｷの固定
取付説明書	D6-001		1	1	1	1			単棟時の組立説明
取扱説明書	D6-101		1	1	1	1			お客様用の取扱い説明

2010.10.11改訂

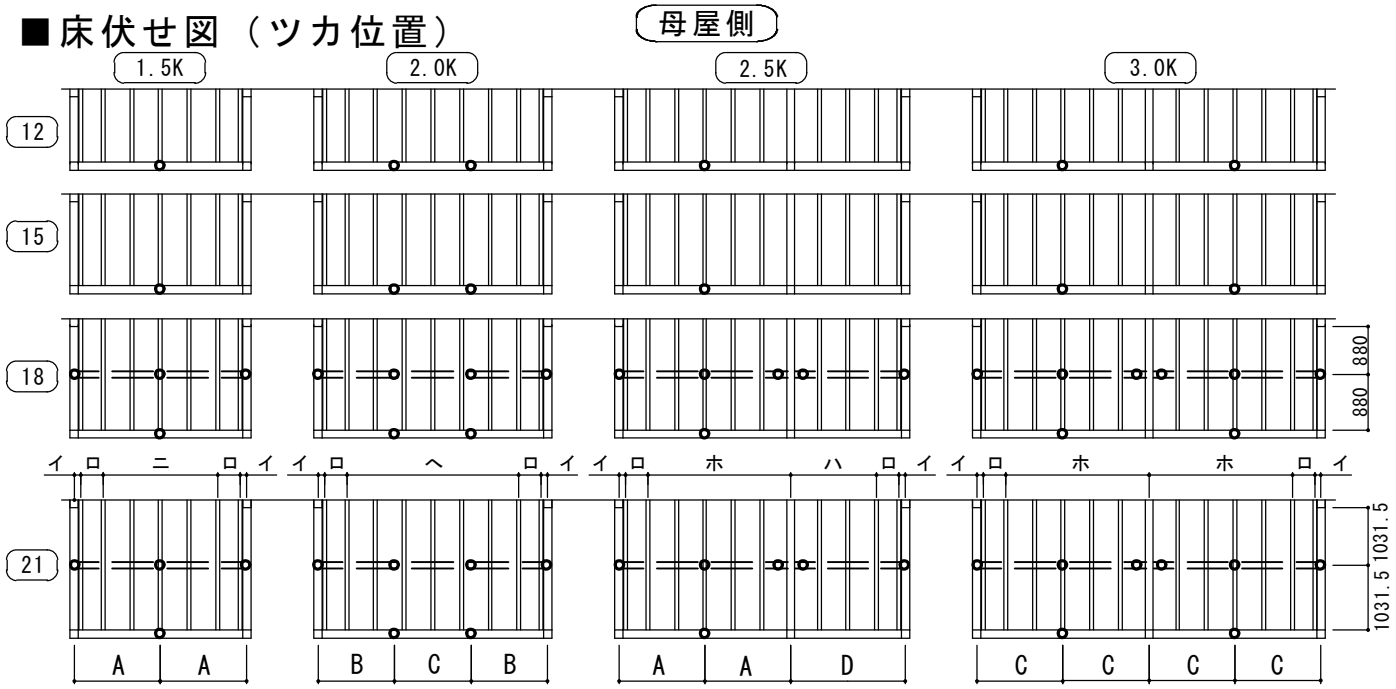
製品基本図

■側面基本図


12タイプ
15タイプ
18タイプ
21タイプ
1350
1213
1653
1516
1957
1820
2260
2123
6°
53.5
(6.3)
353.5
385.5
417.5
449.5
70
1975.5
500
FL～軒付天端 2399
GL～軒付天端 2899
FL～軒付天端 2431
GL～軒付天端 2931
FL～軒付天端 2463
GL～軒付天端 2963
FL～軒付天端 2495
GL～軒付天端 2995
FL
GL
柱内法寸法 1153
基準寸法 1213
柱外々寸法 1283
柱内法寸法 1456
基準寸法 1516
柱外々寸法 1586
柱内法寸法 1760
基準寸法 1820
柱外々寸法 1890
柱内法寸法 2063
基準寸法 2123
柱外々寸法 2193


1.0K
1.5K
2.0K
屋根外々寸法 1886
屋根外々寸法 2796
屋根外々寸法 3706
33
910
左側面
右側面
1975.5
500
FL
GL
間口 1.0K 1820
柱外々寸法 1900
間口 1.5K 2730
柱外々寸法 2810
間口 2.0K 3640
柱外々寸法 3720

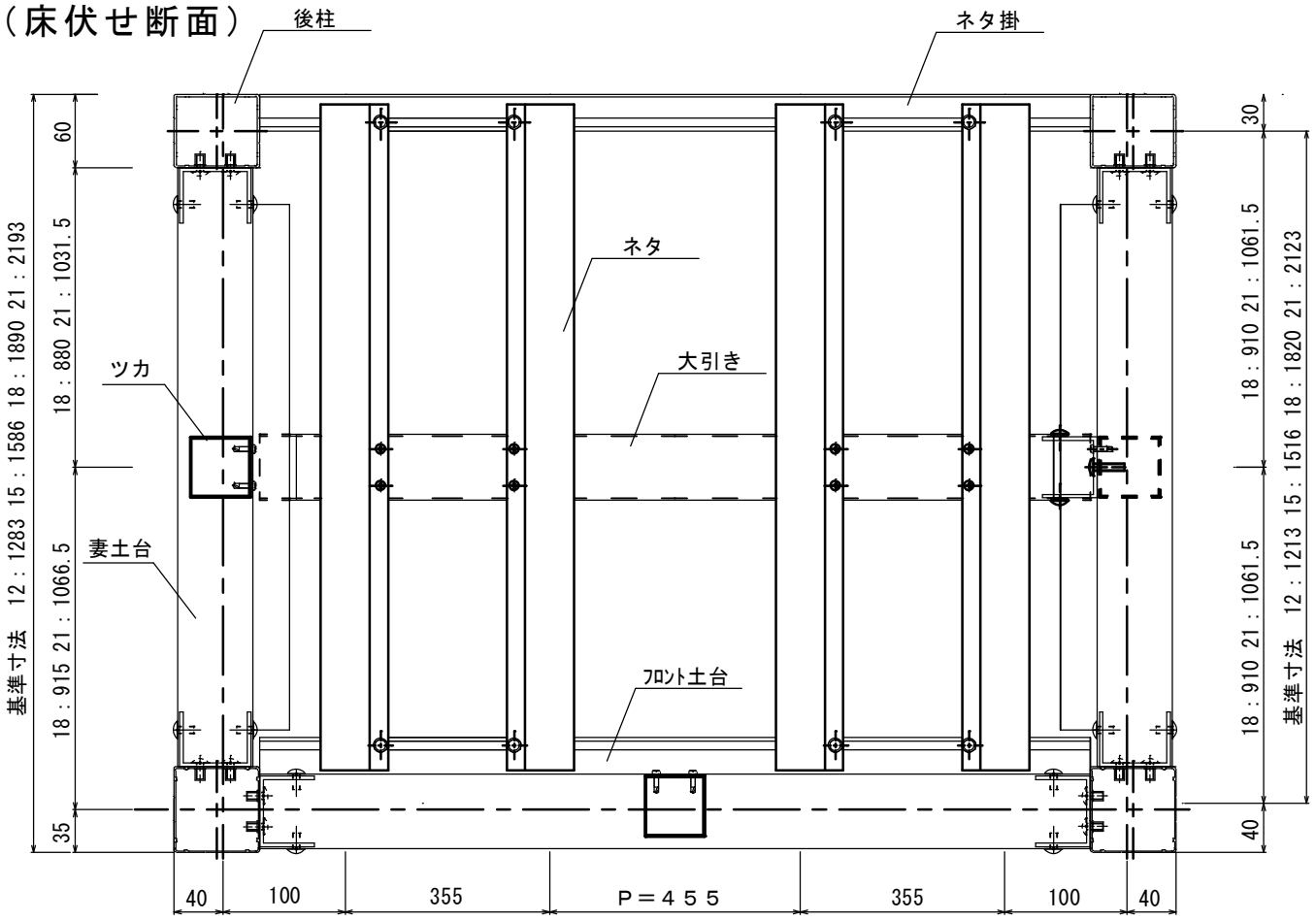
■床伏せ図（ツカ位置）



寸法表				※寸法は基本位置より算出しています。（床断面図参照）				記号
柱・ツカ位置				ネタ位置				二 二—— 大引
A	1365	C	1214	イ	100	ニ	@455×4	□ —— 柱
B	1213	D	1820	ロ	355	ホ	@455×5	
				ハ	@455×3	ヘ	@455×6	○ —— ツカ

■納まり図

（床伏せ断面）

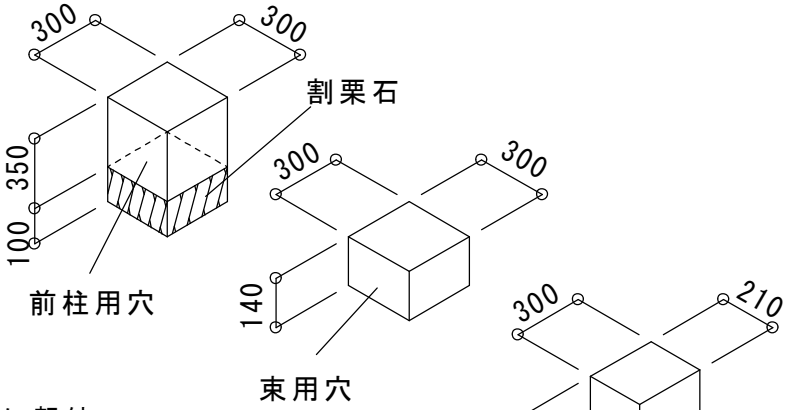


※ 大引きは出巾１８、２１タイプにのみ標準で付いています。（オプションで追加可能）

取付手順

1 柱基礎

基本図・床伏せ図を参照の上、
柱・ツカの位置に埋込み用の
穴を掘って下さい。

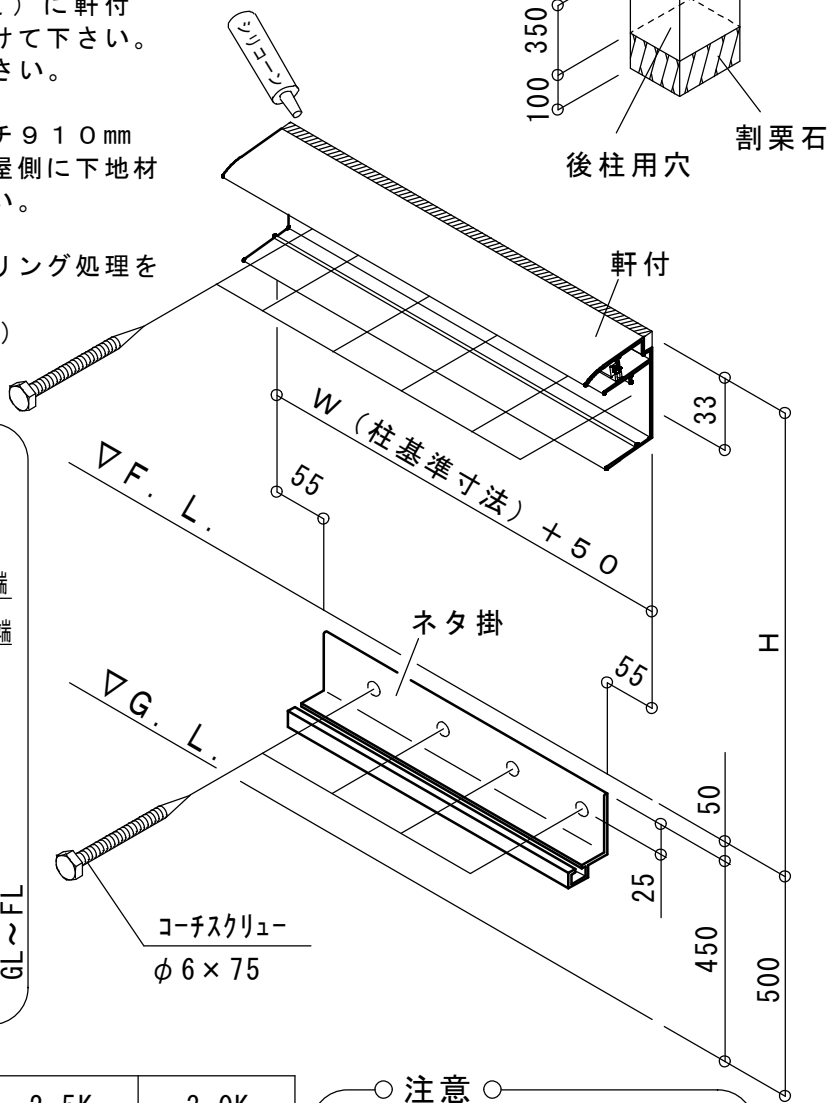


2 軒付・ネタ掛の取付

①右図通りの位置（寸法表に従って）に軒付
ネタ掛をコーチスクリューで取付けて下さい。
その際母屋に下穴をあけてください。

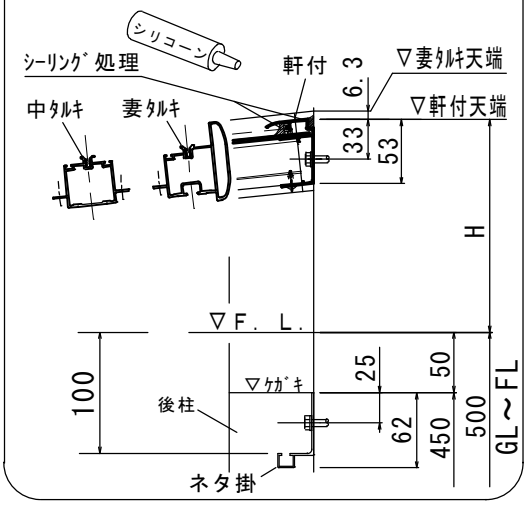
※軒付の下穴位置は垂木間隔（ピッチ９１０mm
に加工してあります。この時、母屋側に下地材
(木材)があることを確認して下さい。

②軒付上部に雨漏り防止の為、シーリング処理を
施して下さい。
（シリコーンは別途現地手配です。）



○詳細断面図○

（お願い）タルキカバー上とポリカ上にも、
シーリングしてください。



(H)＼(W)	1.5K	2.0K	2.5K	3.0K
12(4尺)	2730 / 2399	3640 / 2399	4550 / 2399	5460 / 2399
15(5尺)	2730 / 2431	3640 / 2431	4550 / 2431	5460 / 2431
18(6尺)	2730 / 2463	3640 / 2463	4550 / 2463	5460 / 2463
21(7尺)	2730 / 2495	3640 / 2495	4550 / 2495	5460 / 2495

○注意○

Ｇ．Ｌ．よりの床高を５００mmとした場合の寸法表示です。

お願い

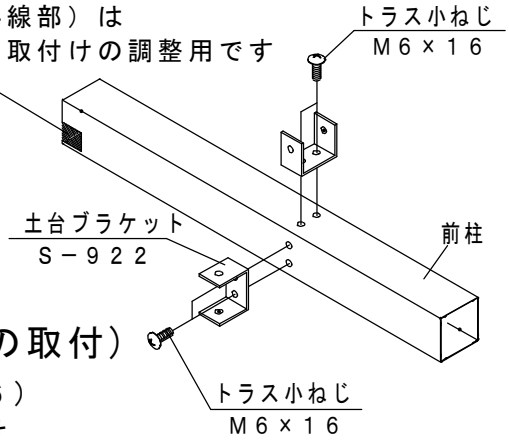
間口2.5K以上の場合、ネタ掛のジョイントネタ側を７ミリカットして下さい。

2010.10.19訂正

3 柱･前桁･ﾌﾛﾝﾄ土台(ﾂｶ)･妻桁･妻土台･ｼﾞｮｲﾝﾄﾈﾀの取付　2011.10.28改訂

■柱・部品の取付け

※注　欠取り（斜線部）は
柱・ピース取付けの調整用です



前柱に土台ブラケットをトラス小ねじ（Ｍ６×１６）で取付けて下さい。

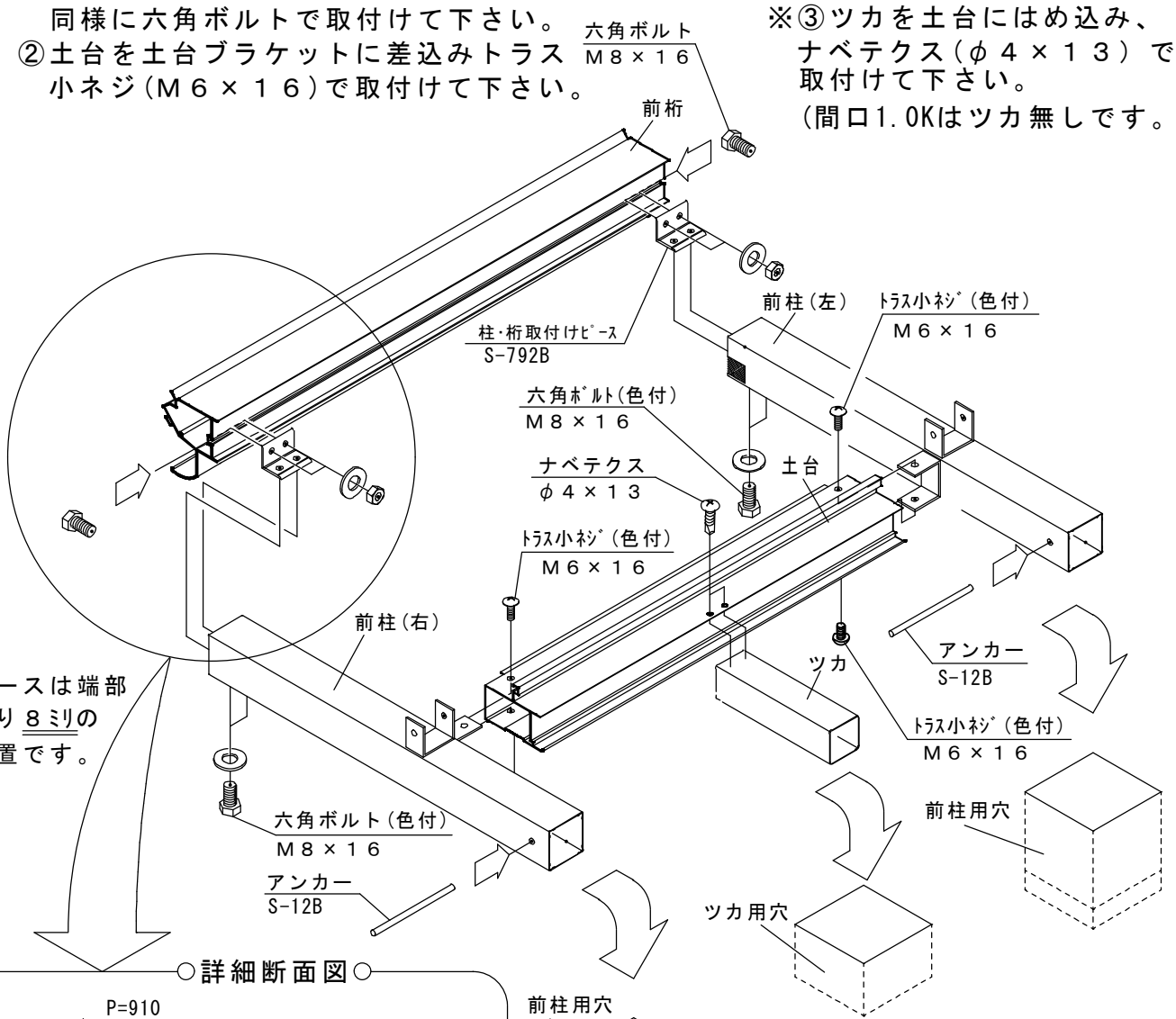
※後柱も同様に土台ブラケットを取付けて下さい。

■柱･前桁･土台の取付(土台･部品･ﾂｶの取付)

①前桁のボルト溝に六角ボルト（Ｍ８×１６）を差込み下の詳細図の位置に柱・桁取付けピースを取付けて下さい。柱の取付けも同様に六角ボルトで取付けて下さい。

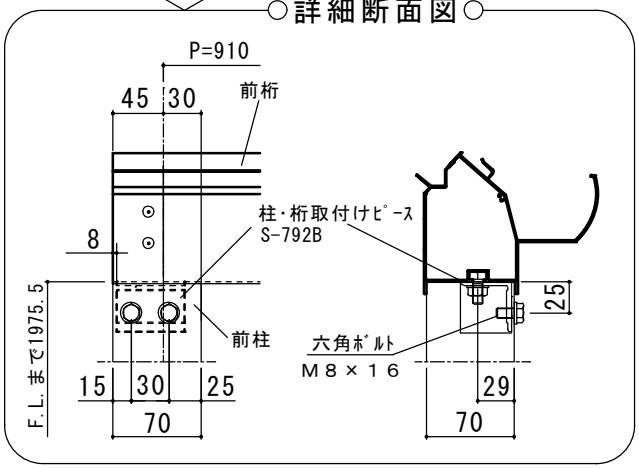
②土台を土台ブラケットに差込みトラス小ネジ(Ｍ６×１６)で取付けて下さい。

※③ツカを土台にはめ込み、ナベテクス(φ４×１３）で取付けて下さい。
(間口1.0Kはツカ無しです。)



※ピースは端部より８ミリの位置です。

○詳細断面図○

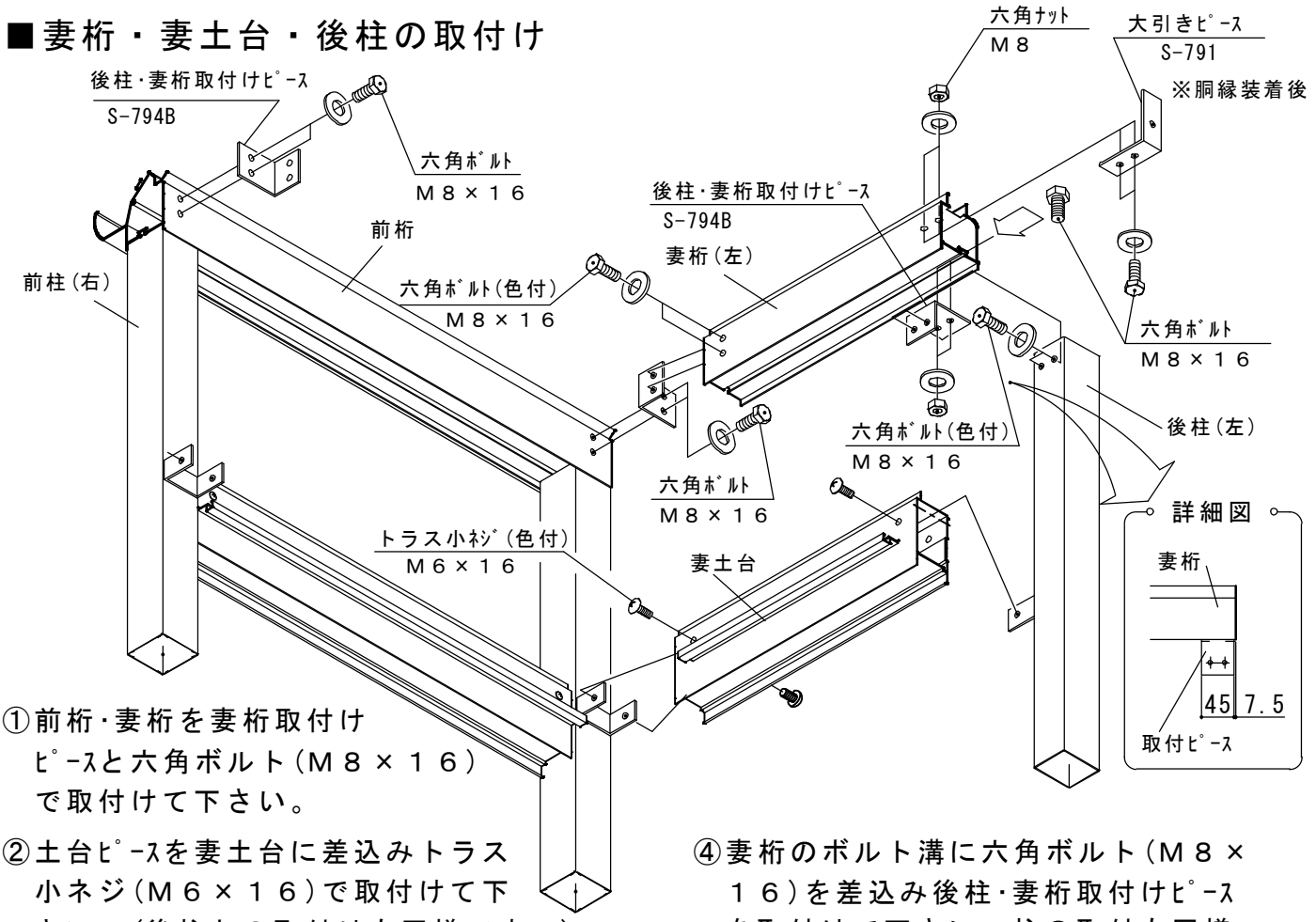


④柱の埋込み側にアンカーを差込んで下さい。

⑤柱･前桁･土台の組付け終了後、部材を矢印の通りに埋込み穴に入れ次の取付けに進んで下さい。

※前桁にピースを六角ナットでしめ込みます。
(欠取り穴よりスパナ等で！)

■妻桁・妻土台・後柱の取付け



①前桁･妻桁を妻桁取付けﾋﾟｰｽと六角ボルト(Ｍ８×１６)で取付けて下さい。

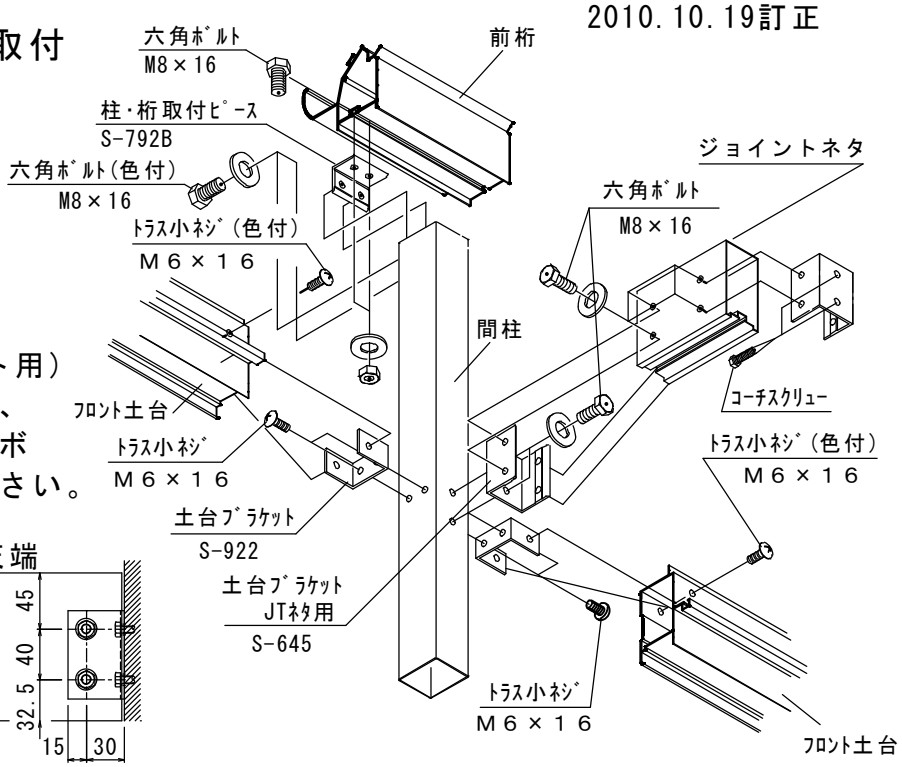
②土台ﾋﾟｰｽを妻土台に差込みトラス小ネジ(Ｍ６×１６)で取付けて下さい。(後柱との取付けも同様です。)

③土台・大引きピースを妻桁に差込み、六角ボルト(Ｍ８×１６)で取付けて下さい。

④妻桁のボルト溝に六角ボルト(Ｍ８×１６)を差込み後柱･妻桁取付けﾋﾟｰｽを取付けて下さい。柱の取付も同様に六角ボルトで取付けて下さい。

2010.10.19訂正

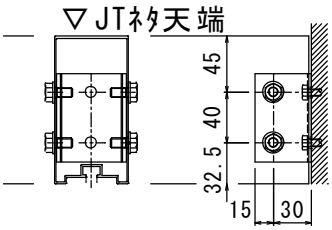
■間柱・ジョイントネタの取付
(間口2.5K以上の場合)



①前桁のボルト溝に六角ボルト(Ｍ８×１６)を差込み柱・桁取付けﾋﾟｰｽを取付けて下さい。間柱の取付けも同様に六角ボルトで取付けて下さい。

②間柱に土台ブラケット(フロント用)をトラス小ネジ(Ｍ６×１６)で、土台ブラケット(JTﾈﾀ用)を六角ボルト(Ｍ８×１６)で取付けて下さい。

③右図の様に躯体に土台ﾌﾞﾗｹｯﾄ(JTﾈﾀ用)をｺｰﾁｽｸﾘｭｰで固定してください。

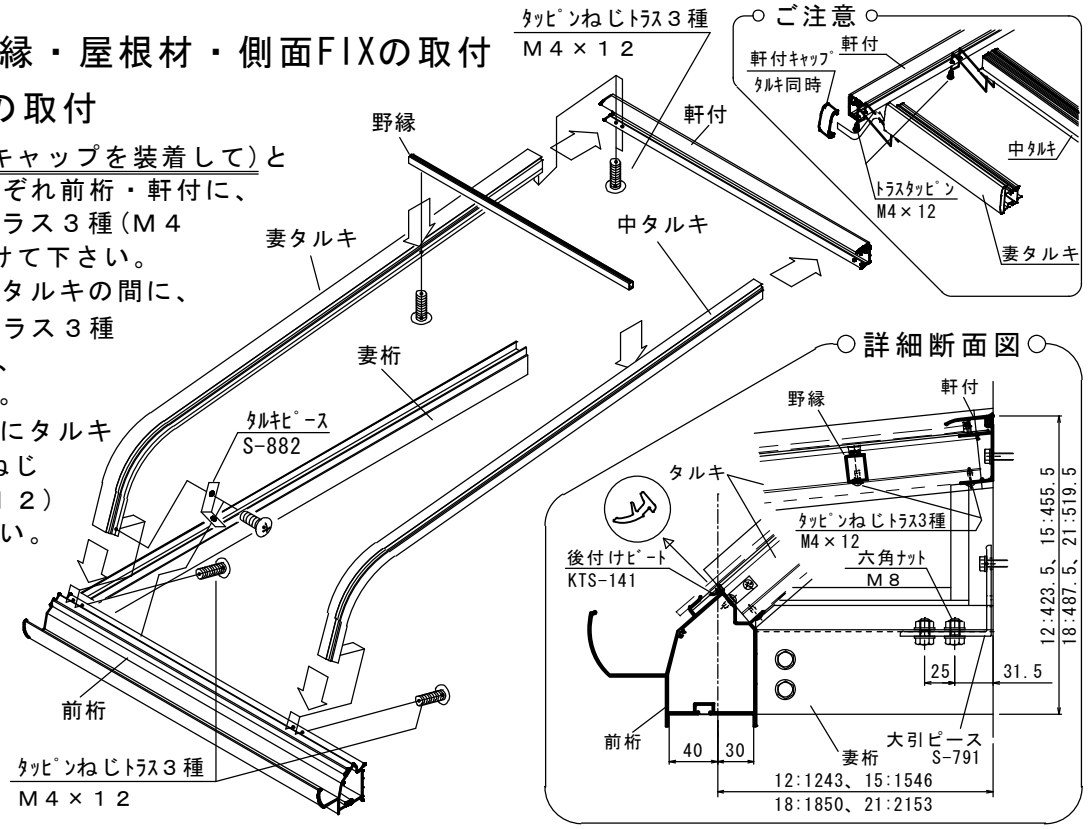


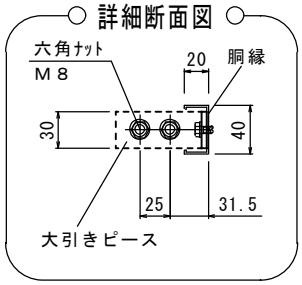
④土台ﾌﾞﾗｹｯﾄを土台とジョイントネタに差込み、土台はトラス小ねじ(M6×16)で、ジョイントネタは六角ボルト(M8×16)で取付けて下さい。※ネタ掛を取付けの際、ジョイントネタ側を7ﾐﾘカットして下さい。

4 タルキ・野縁・屋根材・側面FIXの取付

■垂木・野縁の取付

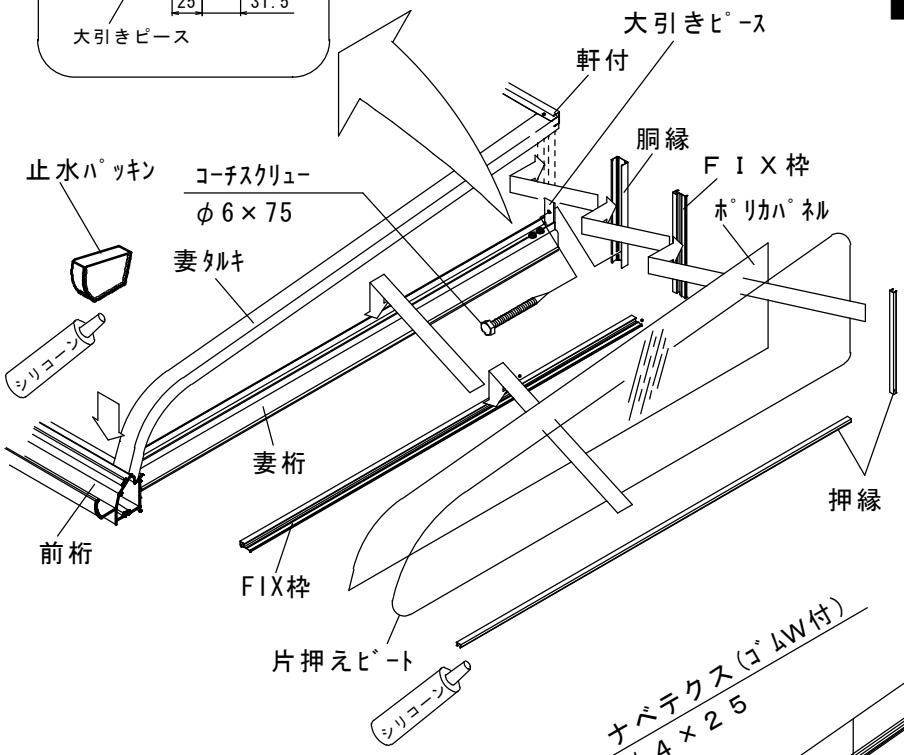
①妻タルキ(軒付キャップを装着して)と中タルキをそれぞれ前桁・軒付に、タッピンねじトラス３種(Ｍ４×１２)で取付けて下さい。
②野縁をタルキとタルキの間に、タッピンねじトラス３種(Ｍ４×１２)で、取付けて下さい。
③前桁と妻タルキにタルキピースをﾀｯﾋﾟﾝねじﾄﾗｽ3種(Ｍ４×１２)で取付けて下さい。
※妻タルキのみ





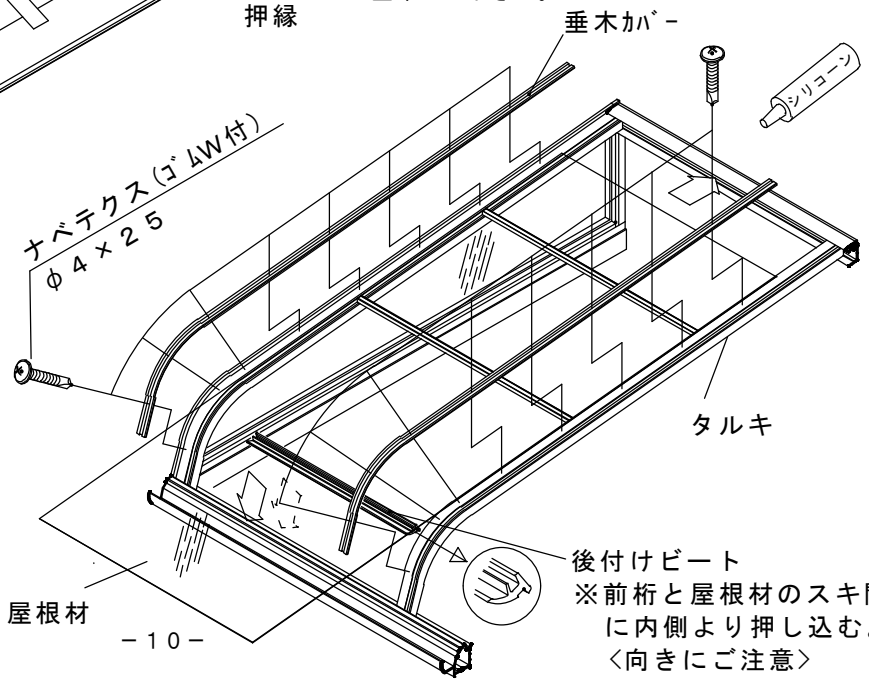
■側面ＦＩＸの取付

①大引きﾋﾟｰｽ(S-791)を胴縁に差込み、妻桁に六角ﾎﾞﾙﾄで固定した後、ﾋﾟｰｽと胴縁をｺｰﾁｽｸﾘｭｰ(φ6×75)で取付けて下さい。
※胴縁にφ７をあけ、母屋のカベにも下穴をあけて下さい。
②FIX枠をそれぞれ胴縁・妻桁に、嵌め込んで下さい。
③ﾎﾟﾘｶﾊﾟﾈﾙを妻ﾀﾙｷ下の溝に差込んで下さい。
④FIX枠に押縁を嵌め込み、片押えﾋﾞｰﾄを押し込んで固定して下さい。
※その際、ビートのカド曲がり部にシリコーンを塗布して下さい。
⑤止水ﾊﾟｯｷﾝを前桁に差込んで下さい。
※止水ﾊﾟｯｷﾝには前桁との接触面に、必ずｼﾘｺｰﾝを塗布して下さい。



■屋根材の取付

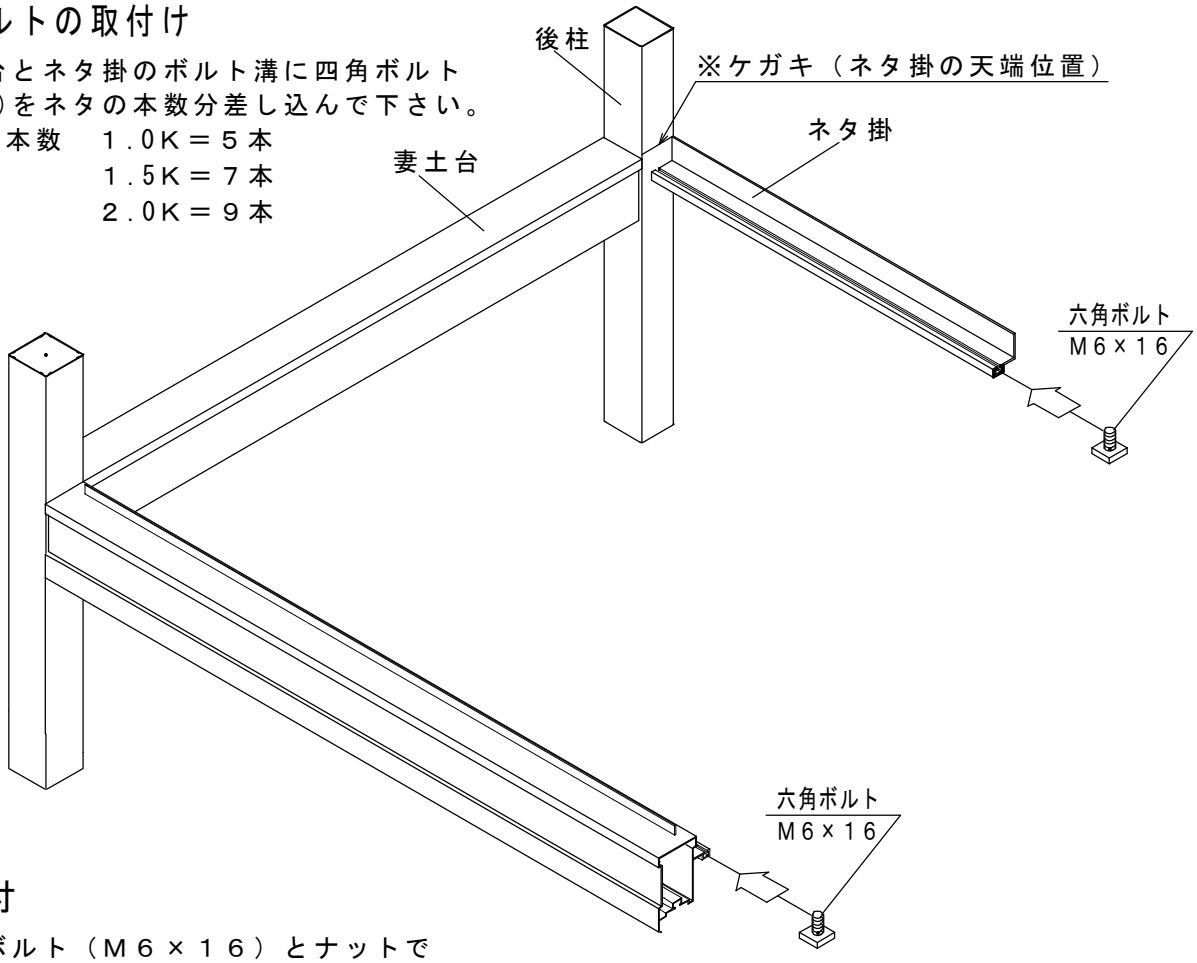
①屋根材を軒付・前桁に差込み、垂木カバーを垂木にナベテクス(φ４×２５ゴムW付)で取付けて下さい。
②屋根材の内側より、前桁詳細図を参照の上、後付けビートを押し込んで、バタつきを無くしてください。



5 ネタの取付

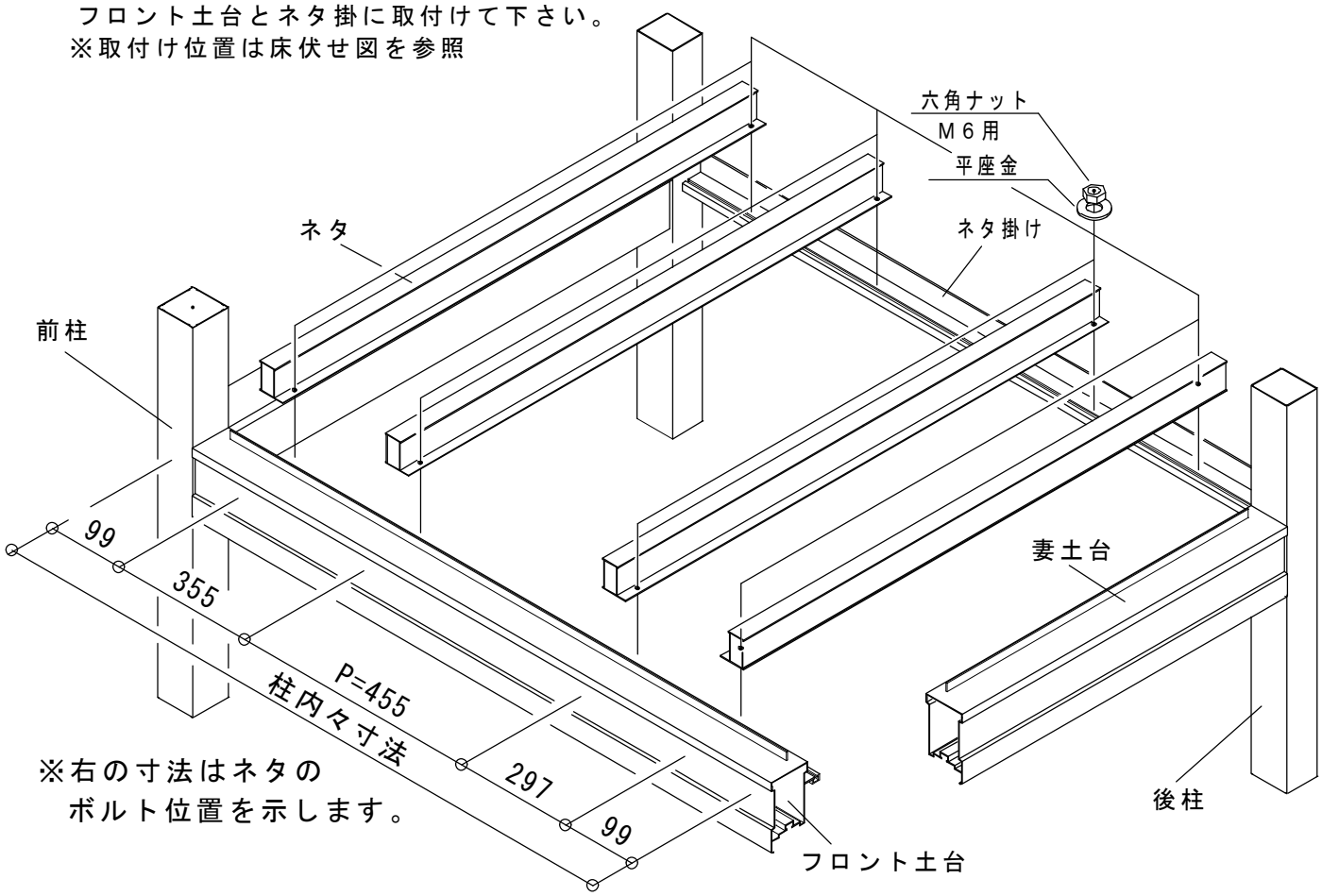
■ネタ止めボルトの取付け

①フロント土台とネタ掛のボルト溝に四角ボルト（Ｍ６×１６）をネタの本数分差し込んで下さい。
※ネタの必要本数　１.０Ｋ＝５本
１.５Ｋ＝７本
２.０Ｋ＝９本



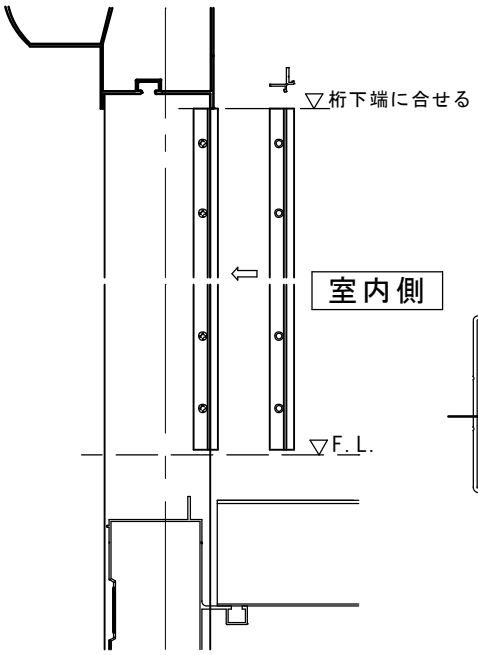
■ネタの取付

①ネタを四角ボルト（Ｍ６×１６）とナットでフロント土台とネタ掛に取付けて下さい。
※取付け位置は床伏せ図を参照



※右の寸法はネタのボルト位置を示します。

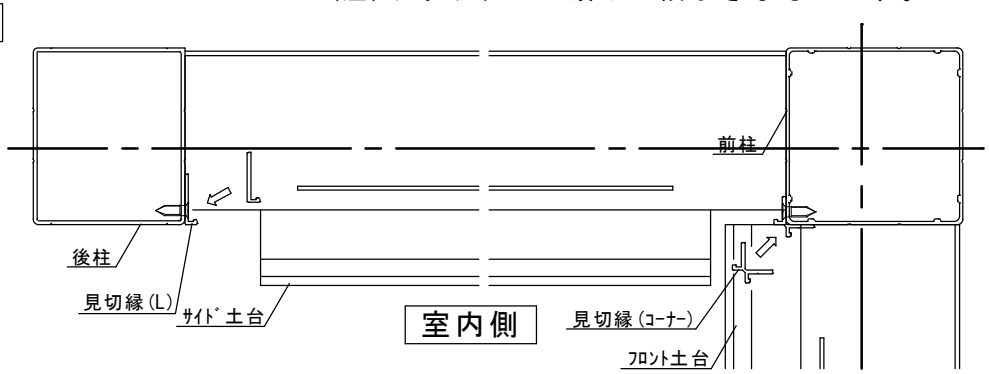
6 見切縁(タテ)の取付及びサッシ枠の取付



見切縁(ﾀﾃ)の取付

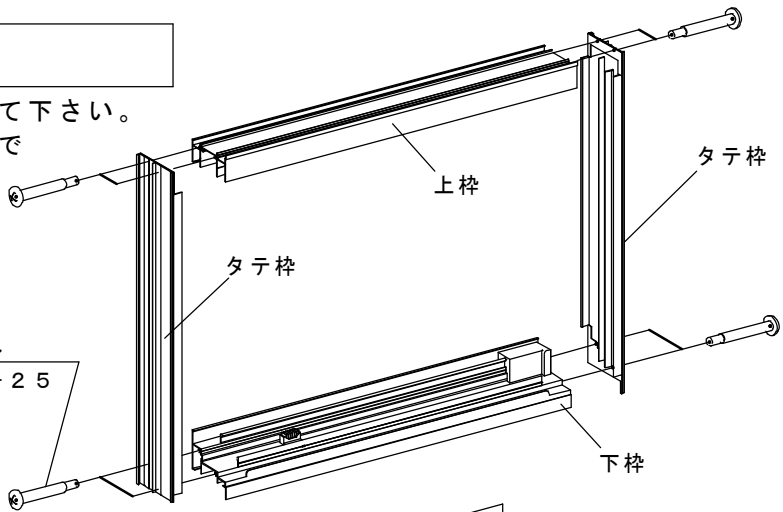
室内側より下図のように、前柱にはｺｰﾅｰ用を、後柱にはＬ型の見切縁をサラテクスD6(φ４×１３)で取付て下さい。

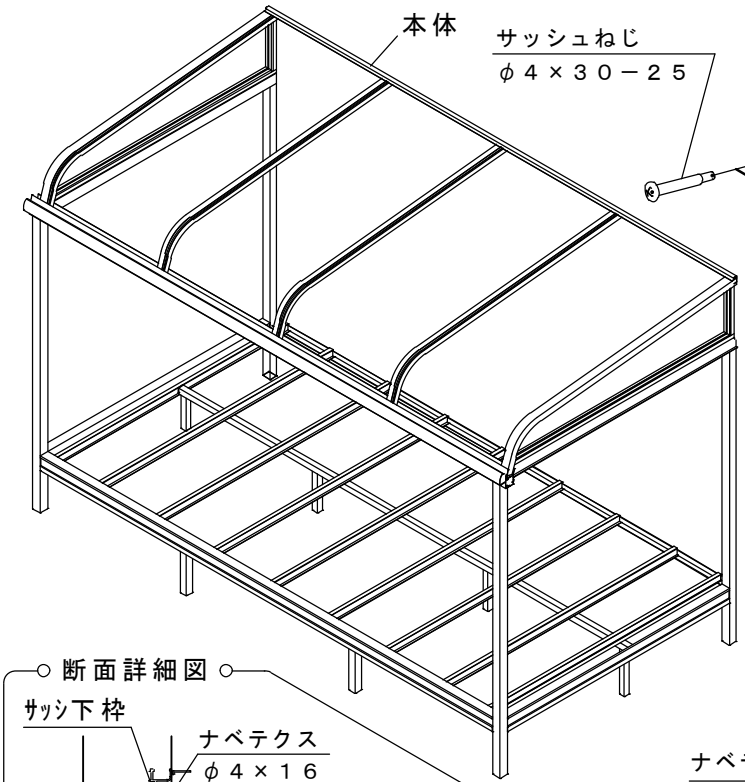
※見切縁はそれぞれ桁材の下端に合わせて取付けて下さい。
また、Ｌ型の見切縁は後柱の室内側の面に合わせて取付けて下さい。　(注)サラテクスの頭は一段小さなものです。

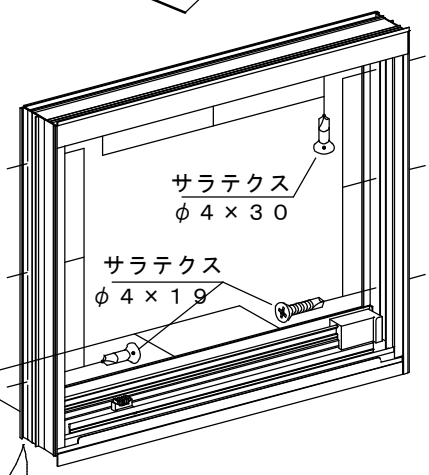


サッシ枠の取付

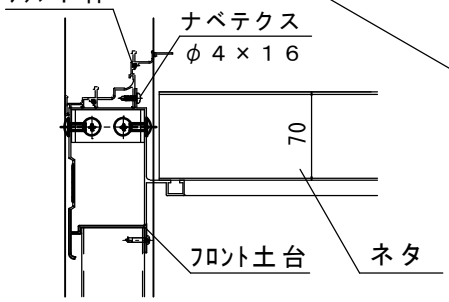
①サッシ枠をそれぞれサッシュねじで組付けて下さい。
②サッシ枠を本体にナベテクス，サラテクスでそれぞれ取付けて下さい。その際、サッシの下枠は土台の内側より止めて下さい。
※下の断面詳細図参照







断面詳細図



ご注意
タテ枠・上枠と本体のスキ間はできる限り均等にして下さい。

7 床材の取付

■フロアー材の取付

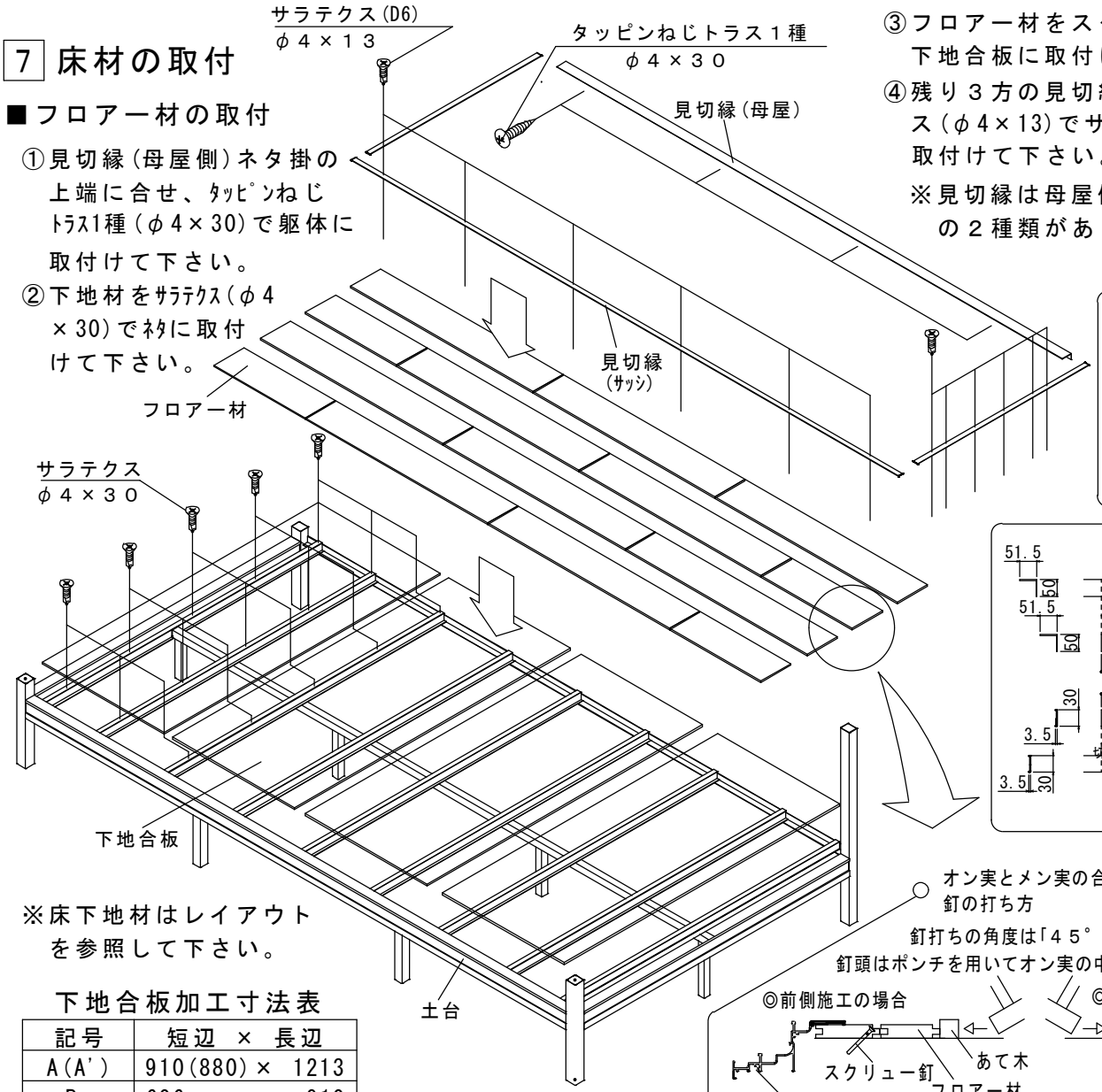
①見切縁(母屋側)ネタ掛の上端に合せ、ﾀｯﾋﾟﾝねじﾄﾗｽ1種(φ4×30)で躯体に取付けて下さい。

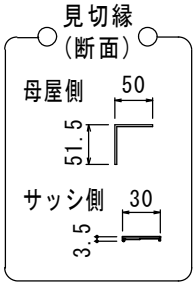
②下地材をｻﾗﾃｸｽ(φ4×30)でﾈﾀに取付けて下さい。

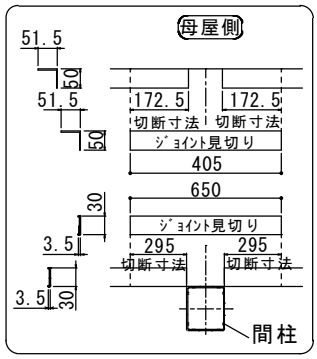
③フロアー材をスクリュー釘で下地合板に取付けて下さい。

④残り３方の見切縁をサラテクス(φ4×13)でサッシ下枠に取付けて下さい。

※見切縁は母屋側・サッシ側の２種類があります。



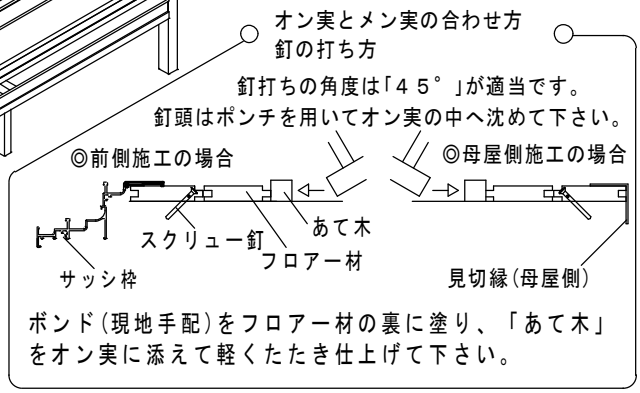




※床下地材はレイアウトを参照して下さい。

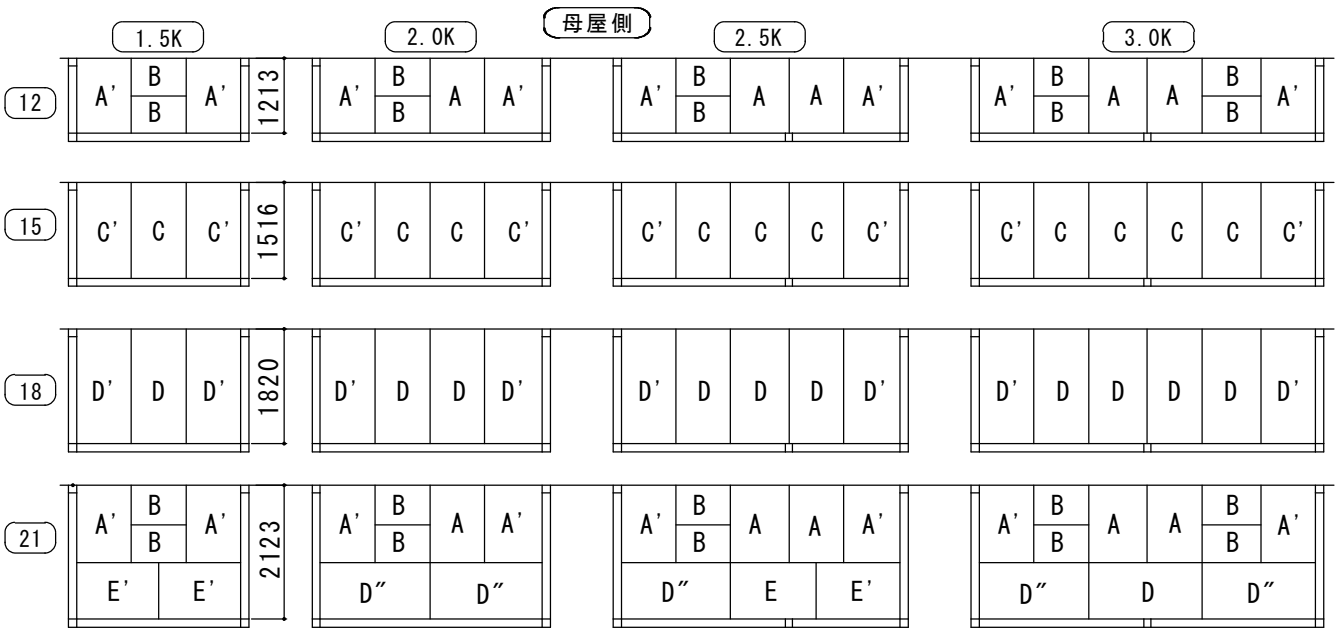
下地合板加工寸法表

記号	短辺 × 長辺
A(A')	910(880) × 1213
B	606 × 910
C(C')	910(880) × 1516
D(D')	910(880) × 1820
D″	910 × 1790
E(E')	910 × 1365(1335)



ボンド(現地手配)をフロアー材の裏に塗り、「あて木」をオン実に添えて軽くたたき仕上げて下さい。

下地合板レイアウト（参考例）



■塩ビデッキ材・見切縁の取付け　2011.08.31改訂

①見切縁(母屋側)をネタ掛の上端に合せ、タッピンねじトラス１種(φ4×30)で躯体に取付けて下さい。

②デッキ材を下表のサイズにカットし、ナベテクス(φ４×13)でネタに取付けて下さい。

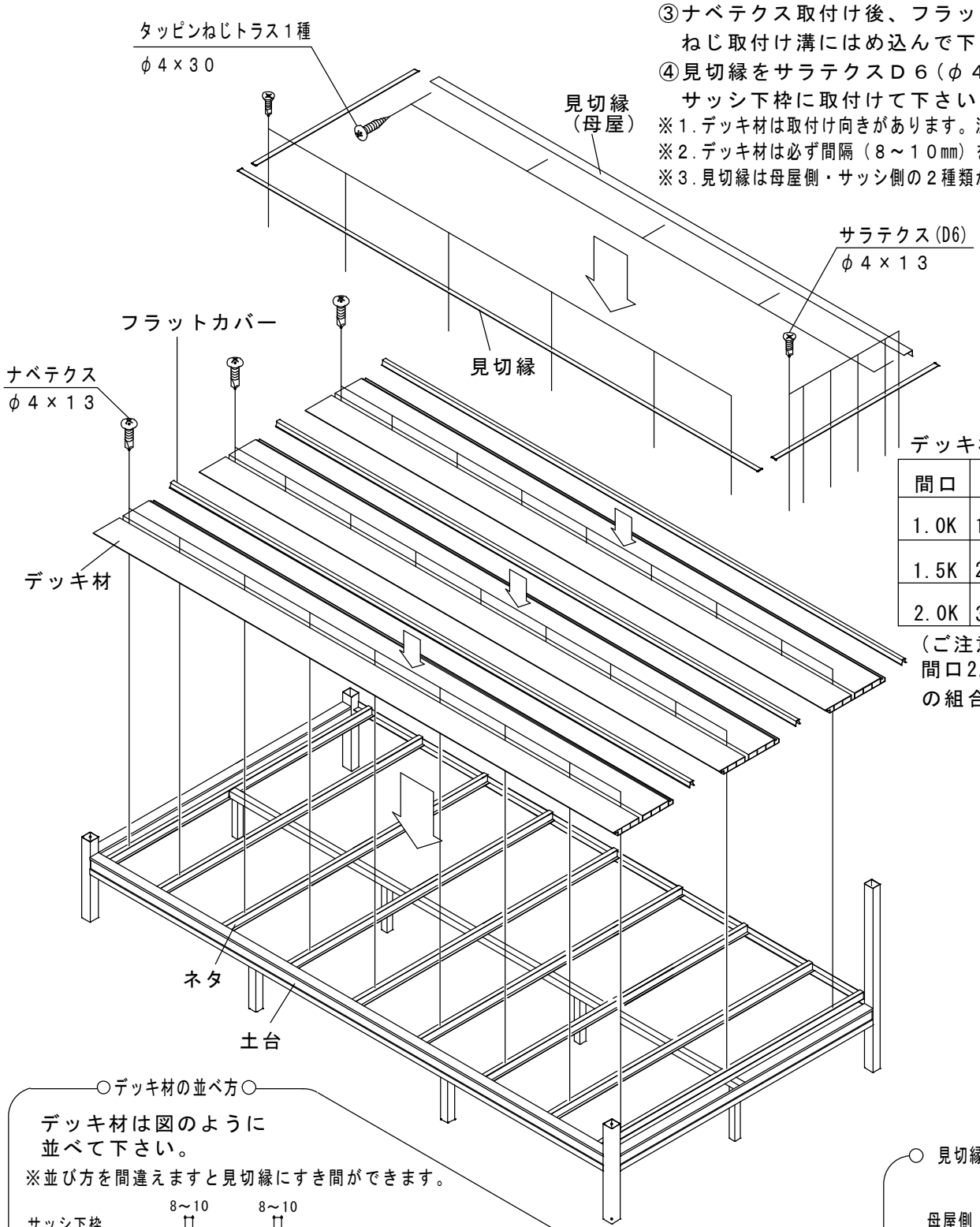
③ナベテクス取付け後、フラットカバーをねじ取付け溝にはめ込んで下さい。

④見切縁をサラテクスＤ６(φ４×１３)でサッシ下枠に取付けて下さい。

※1.デッキ材は取付け向きがあります。注意して下さい。

※2.デッキ材は必ず間隔（８～１０㎜）をあけて下さい。

※3.見切縁は母屋側・サッシ側の２種類があります。



デッキ材カット寸法

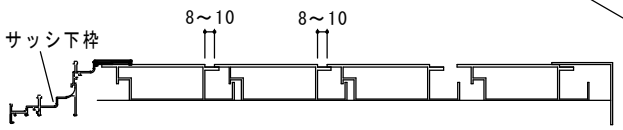
間口	単棟	連棟
1.0K	1750㎜	1780㎜
1.5K	2660㎜	2690㎜
2.0K	3570㎜	3600㎜

（ご注意）
間口2.5K以上は連棟の組合せとなります。

○デッキ材の並べ方○

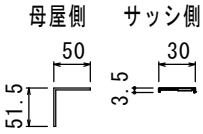
デッキ材は図のように並べて下さい。

※並び方を間違えますと見切縁にすき間ができます。



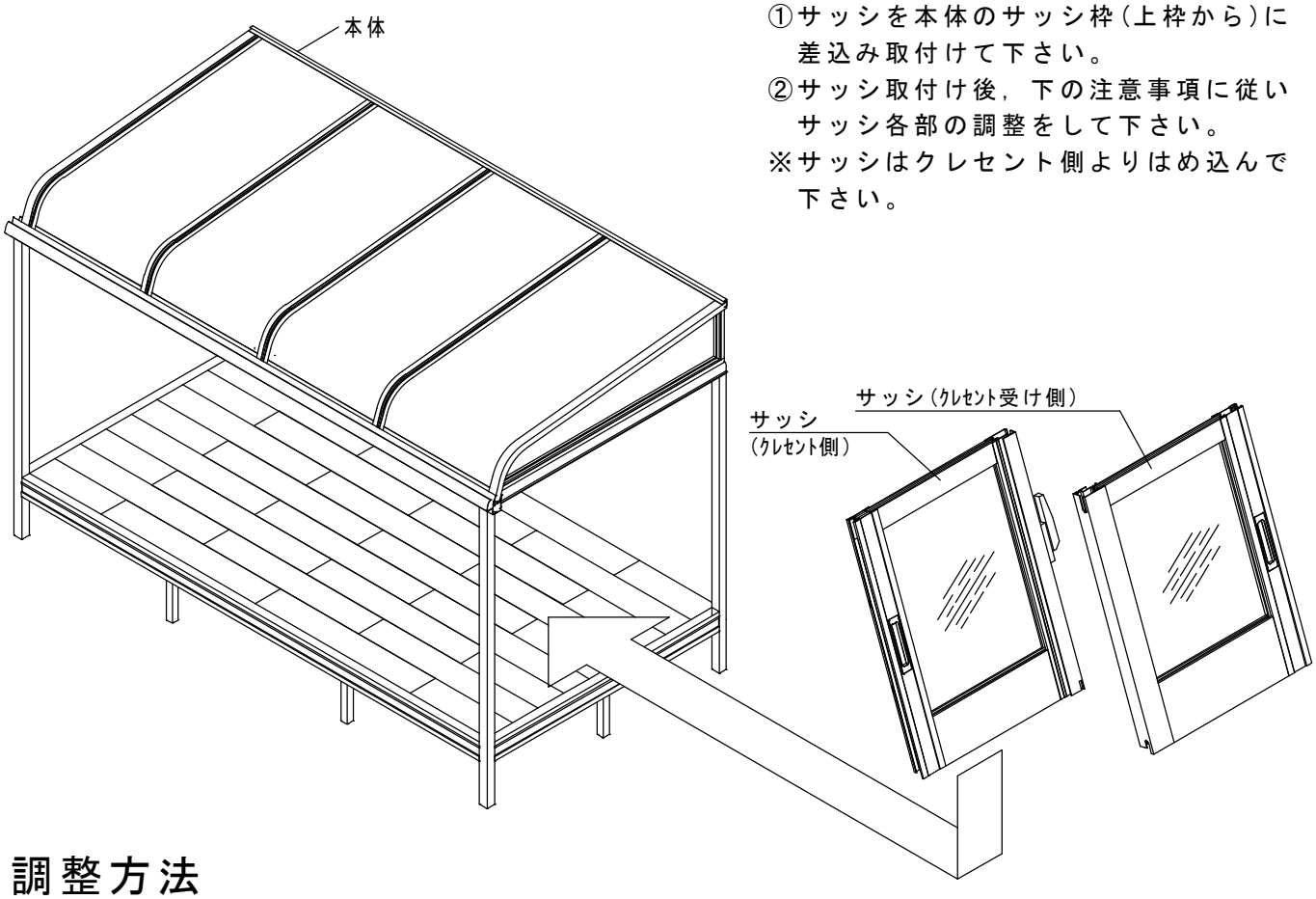
※注 デッキ材は図のように間隔(８㎜～１０㎜)をあけ、すき間ができないように取付けて下さい。

○ 見切縁(断面) ○



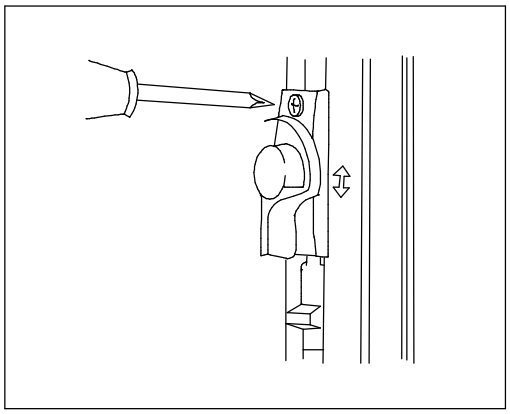
8 サッシの取付

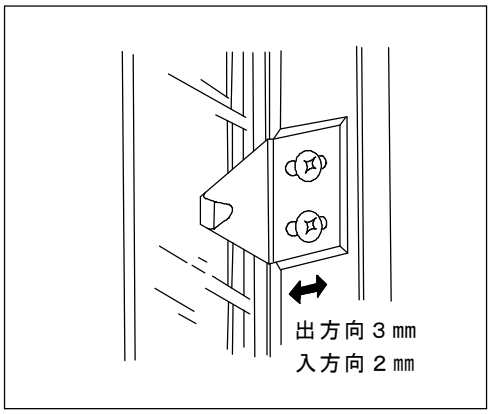
①サッシを本体のサッシ枠(上枠から)に差込み取付けて下さい。
②サッシ取付け後，下の注意事項に従いサッシ各部の調整をして下さい。
※サッシはクレセント側よりはめ込んで下さい。



調整方法

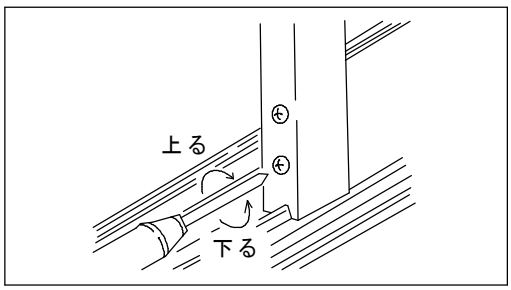
〈クレセントおよびクレセント受けの調整〉





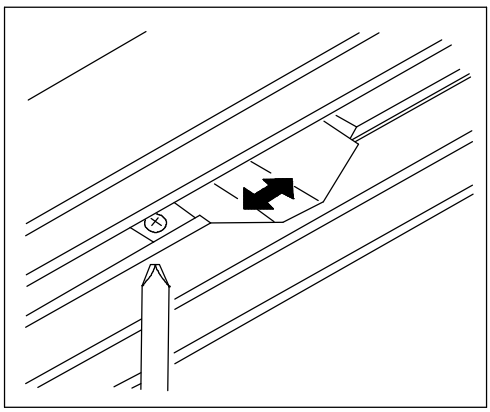
・クレセントは上下方向、クレセント受けは出方向に調整ができます。
調整には㊉ドライバーをご使用ください。

〈下車の調整〉



・施工時および建付け時に狂いが生じた場合は、㊉ドライバーで調整ができます。

〈上部風止め板の調整〉

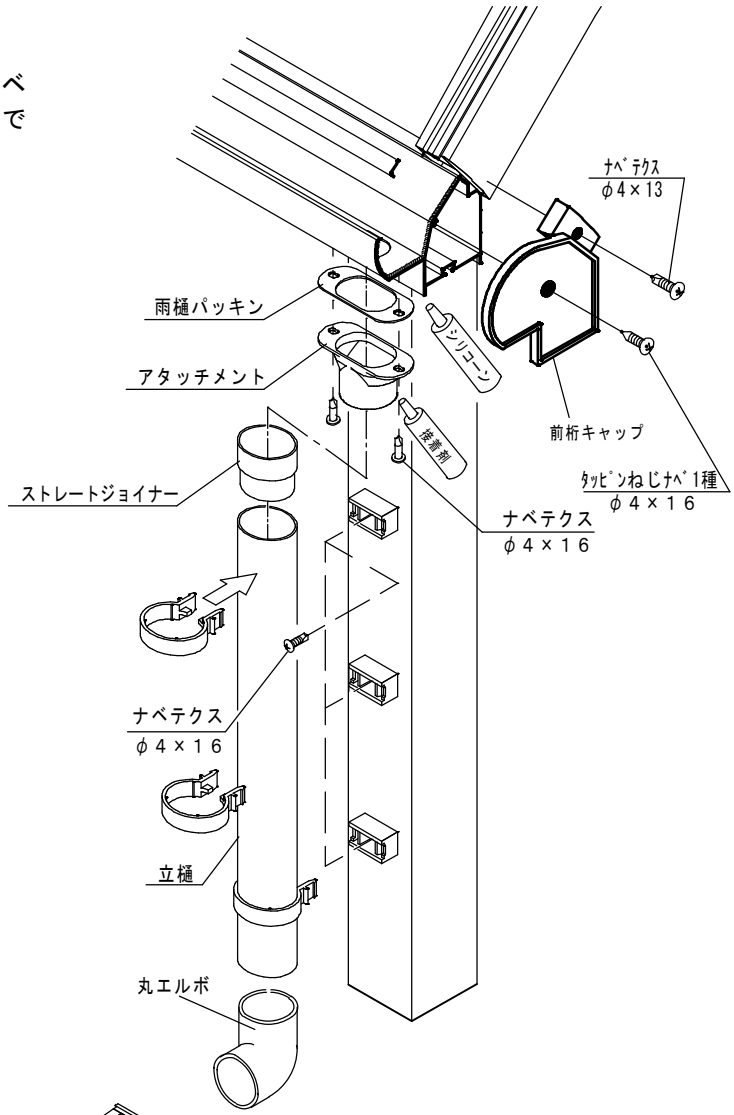


・サッシ枠上に通してある上部風止め板を、サッシの重なり部分に移動し、㊉ドライバーで固定してください。

仕上げについて

9 立樋の取付け

①前桁の小口に前桁キャップをタッピンねじナベ１種(φ４×１６)とナベテクス(φ４×１３)で取付けて下さい。
②前桁に立樋取付部品を図のように取付けて下さい。
※丸立樋をＧ．Ｌ．より５０mmの位置に取付け調整して下さい。
※前桁小口には、コーキング処理をほどこして下さい。

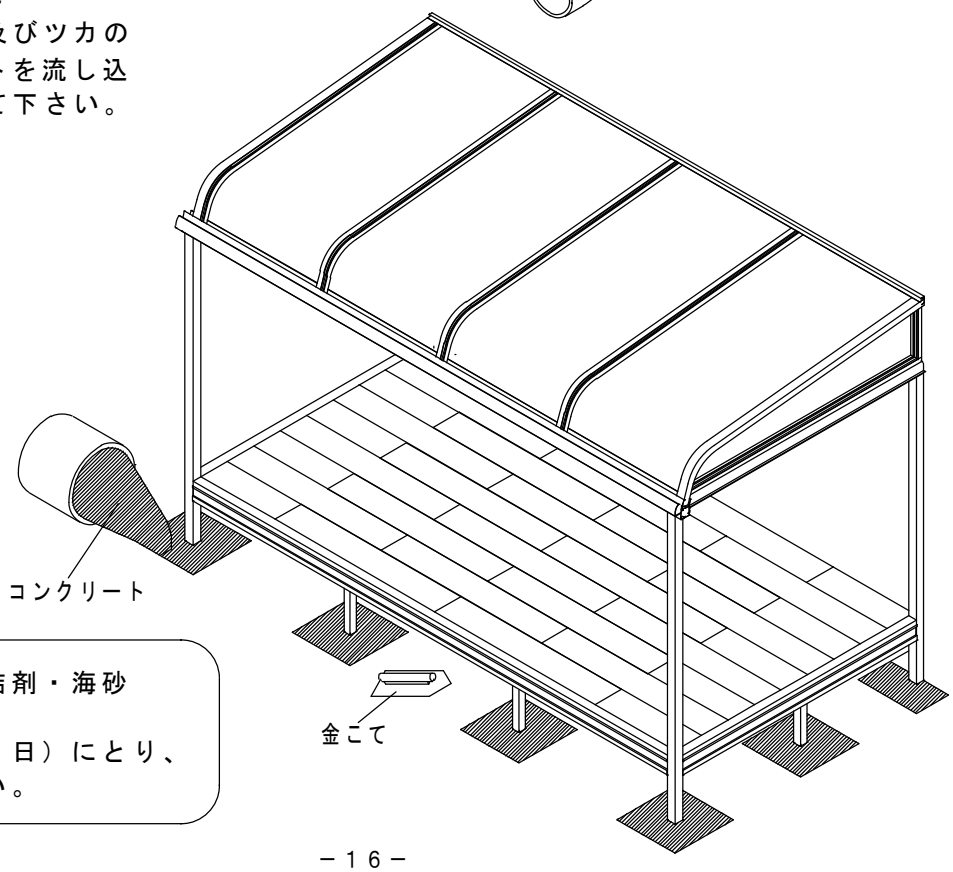


丸樋取付け部品（明細）

名称	品番・寸法	数量	備考(材質・色)
平パッキン	EP-540	1	ﾏｯﾄｼｰﾗｰ　黒
丸エルボ９２°	EP-486	1	AAS　G･K･W
丸サドル	EP-375	3	AAS　G･K･W
取付台	EP- 63	3	AAS　G･K･W
アタッチメント	EP-506	1	AAS　G･K･W
ｽﾄﾚｰﾄｼﾞｮｲﾝﾅｰ	EP-469	1	AAS　G･K･W
ナベテクス	φ4×16	5	SUS　生地･K･生地
接着剤		1	

10 柱・ツカの固定

①仮固定されている柱及びツカの基礎穴にコンクリートを流し込み金こて仕上げをして下さい。



○ 注意 ○

コンクリートには、急結剤・海砂は使用しないで下さい。
養生期間は十分（４～７日）にとり、取扱には注意して下さい。